

# 年譜ならびに主要業績

## 氏名

釜江 廣志（かまえ ひろし）

## 生年月

1948年1月 兵庫県生まれ

## 学歴

1966年3月 兵庫県立加古川東高等学校卒業

1970年3月 京都大学経済学部経済学科卒業

1972年3月 一橋大学大学院経済学研究科理論経済学専攻修士課程修了

1975年3月 一橋大学大学院経済学研究科理論経済学専攻博士課程単位取得後退学

1993年7月 博士（商学，一橋大学）学位取得

## 職歴

1975年4月 小樽商科大学商学部講師（専任）（担当科目：金融経済論）

1979年10月 同 助教授

1981年4月 山口大学教養部助教授（担当科目：経済学）

1984年4月 一橋大学商学部助教授

（学部担当科目：金融概論，証券投資論，資本市場論，

大学院担当科目：投資管理論，ミクロ金融特論）

1989年4月 同 教授

1990年4月-1991年7月 米国スタンフォード大学経営大学院客員研究員

1999年4月-2001年3月 一橋大学評議員

2009年4月 東京経済大学経済学部教授

（学部担当科目：証券市場論，金融工学，金融キャリアプログラム，

大学院担当科目：証券市場論，計量経済学）

学内委員：教員資格審査委員，生涯学習推進委員

金融キャリアプログラム運営委員

2011年3月 一橋大学名誉教授

2018年3月 東京経済大学退職

年譜ならびに主要業績

### 非常勤講師

北海道大学経済学部（1884年度，証券市場論），成城大学経済学部（1892年度，証券市場論），名古屋市立大学大学院経済学研究科（1892年度，証券市場論），中央大学商学部（1896-2000年度，金融政策論），東京経済大学経営学部（1896年度，証券市場論），長崎大学経済学部（2000年度，ポートフォリオ論），同志社大学大学院商学研究科（2004-08年度，資本市場論），広島修道大学経済科学部（2005-09年度，ファイナンス論），郵政大学校。

### 社会的活動

- 1993年 4月-1997年 3月 国土庁「不動産鑑定士試験」試験委員  
2000年 4月-2004年 3月 財務省「昭和財政史」執筆者  
2003年 6月-2005年 6月 大学評価・学位授与機構「大学評価委員会」評価員  
2007年 8月-2015年 3月 総務省「独立行政法人評価委員会」委員  
2007年 12月-現在 財務省「平成財政史」執筆委員  
2008年 5月-2009年 4月 大学評価・学位授与機構「大学機関別認証評価委員会」  
専門委員  
2009年 11月-2010年 2月 独立行政法人平和祈念事業特別基金「理事選考委員会」  
委員  
2010年 12月-2010年 2月 独立行政法人統計センター「監事選考委員会」委員  
2011年 12月-2013年 11月 日本学術振興会「科学研究費委員会」専門委員  
2011年 12月-2015年 3月 総務省「独立行政法人評価委員会 郵便貯金・簡易生命  
保険管理機構分科会」会長  
2013年 4月-現在 (一財)日本郵政退職者連盟評議員

### 学会活動

- 日本金融学会理事 (2000年 4月-2002年 4月)  
同 常任理事 (2002年 4月-2004年 4月)  
生活経済学会理事 (2001年 4月-2003年 5月，2009年 6月-2015年 6月，2017年 6月  
-現在)  
同 副会長 (2003年 5月-2005年 5月)  
同 会長 (2005年 5月-2007年 4月)

### 受賞

- 2000年 4月 生活経済学会・学会賞  
2002年 10月 東日本鉄道文化財団・奨励賞

## 主要業績目録

## (a) 著書・編著

- 『日本の国債流通市場—利子率の期間構造の計量分析—』有斐閣, 1993年6月。
- 『証券分析の基礎』(編著)有斐閣, 1995年12月。
- 『入門証券市場論』(編著)有斐閣, 1998年10月。
- 『日本の証券・金融市場の効率性』有斐閣, 1999年7月。
- 『ゼミナール証券分析』(編著)有斐閣, 2002年5月。
- 『ミクロ経済学基礎演習』(大塚晴之と共同)同文館出版, 2002年9月。
- 『マクロ経済学基礎演習』(大塚晴之と共同)同文館出版, 2003年1月。
- 『証券論』(北岡孝義, 大塚晴之, 鈴木喜久と共同)有斐閣, 2004年8月。
- 『日本の国債市場と情報』有斐閣, 2005年2月。
- 『金融・ファイナンス入門』(皆木健男と共同)同文館出版, 2011年4月。
- 『日本の債券市場の史的分析—戦前と戦後の数量経済史—』同文館出版, 2012年2月。
- 『日本の公共債市場の数量経済史』同文館出版, 2016年9月。

## (b) 分担執筆

- 「貨幣市場」(牛島正・林敏彦(編)『現代経済学の基礎(1)』有斐閣, 1993年5月)
- 「金融市場の価格形成」(花輪俊哉(編)『日本の金融経済』有斐閣, 1995年10月)
- 「消費者行動の理論」(賀川昭夫・辻正次(編)『現代経済学の基礎(2)』有斐閣, 1997年2月)
- 「情報の経済学」(辻正次と共同)(賀川昭夫・辻正次(編)『現代経済学の基礎(2)』有斐閣, 1997年2月)
- 「グローバル・ビジネスの財務管理」(鈴木典比古(編)『現代経営学講座5 グローバリゼーションの中の企業』八千代出版, 2000年9月)
- 「国債」(大蔵省財政史室(編)『昭和財政史 昭和49-63年度 5 国債・財政投融资』東洋経済新報社, 2004年3月)
- 「公社債市場」(米澤康博(編)『証券市場読本』東洋経済新報社, 2006年3月)
- “Macroeconomic Announcements, Asymmetric volatility and IT” (with T. Minaki and I. Uchida), In Y. Kurihara, S. Takaya, H. Harui and H. Kamae (eds.), INFORMATION TECHNOLOGY AND ECONOMIC DEVELOPMENT 2007, Information Science Reference.
- “An Econometric Analysis of Japanese Government Bond Markets in the Prewar and Postwar Periods,” in M. Susai and S. Uchida (eds.), STUDIES ON FINANCIAL

年譜ならびに主要業績

MARKETS IN EAST ASIA, 2011, World Scientific Publishing Co.

「国債」（財務省財政史室（編）『平成財政史 平成元-12年度 5 国債・財政投融资』大蔵財務協会，2015年12月）

(c) 論文

「支出シェアの一定性について」『一橋論叢』第73巻第2号1975年2月

「企業部門の貨幣需要関数の計測」『商学討究』（小樽商科大学）第27巻第2号，1976年10月

「日本の貸出市場における不均衡について：ノート」『商学討究』第28巻第3号，1978年1月

「線型支出体系とその一般化」『商学討究』第29巻第3号，1979年1月

「日本の貸出市場構造の実証分析：展望」『商学討究』第30巻第1号，1979年7月

「日本の貸出市場の不均衡の計測—改善されたデータを用いて—」『経済研究』（一橋大学）第31巻第1号，1980年1月

「貸出の需要・供給と貸出金利の関係の計測」『季刊理論経済学』（理論計量経済学会）第31巻第1号，1980年4月

「日本のコール・手形市場の構造」『商学討究』第31巻第1号，1980年6月30日

「日本の貸出市場の不均衡の存在：古川論文に寄せて」『山口大学教養部紀要（人文科学編）』第15巻，1981年10月

「長期金融市場における利子率の決定：展望」『経済論叢』（京都大学）第131巻第4，5号，1983年4，5月

「コール・手形レートの決定」『山口大学教養部紀要（人文科学編）』第17巻，1983年10月

「国債需要の実証分析：ノート」『山口大学教養部紀要（人文科学編）』第17巻，1983年10月

「国債流通市場の諸問題」『山口大学教養部紀要人文科学編』第17巻，1983年10月

「資本資産評価の理論：展望」『山口大学教養部紀要人文科学編』第17巻，1983年10月

「資本資産評価モデルの計測」『一橋論叢』第94巻第2号，1985年8月1日

「国債流通市場における需要と利回りの決定」『一橋大学研究年報 商学研究』第27巻，1987年4月

「国債利回りの期間構造——予備的分析——」『一橋論叢』第99巻第2号，1988年2月

「国債流通市場の計量分析——フロー・タームによる需要と利回りの決定——」『一橋大学研究年報 商学研究』第28巻，1988年3月

「わが国先物市場における価格形成」『ファイナンス研究』（日本証券経済研究所）第10号，

1989 年 6 月

「期待形成と期間構造の純粋期待仮説」『一橋大学研究年報 商学研究』第 29 卷, 1989 年 6 月

「利率の期間構造に関する純粋期待仮説のワルド検定」『一橋大学研究年報 商学研究』第 30 卷, 1990 年 2 月

「利率の期間構造に関する純粋期待仮説の検定—改善されたスポット・レート推計値を用いて—」『国民経済雑誌』(神戸大学) 第 162 卷第 4 号, 1990 年 10 月

「わが国先物市場における価格決定: 期間を拡大しての再計測」『一橋論叢』第 107 卷第 5 号, 1992 年 5 月

「利率の期間構造におけるプレミアムの存在について」『金融経済研究』(金融学会) 第 3 号, 1992 年 7 月

「わが国国債市場構造の計量分析」『生活経済学会会報』第 8 卷, 1992 年 12 月

「日本の国債市場と金利の期間構造」『成城大学経済研究所報』第 6 号, 1993 年 4 月

「利率の期間構造の共和分分析」『一橋論叢』第 111 卷第 5 号, 1994 年 5 月

「国債利回りとインフレーションの関係の共和分分析: 予備的計測」『一橋論叢』第 113 卷第 5 号, 1995 年 5 月

「わが国経済成長と預金市場: カルマン・フィルター法を用いて」『一橋論叢』第 114 卷第 5 号, 1995 年 11 月

「利率の期間構造と市場の効率性: 利付債データを用いての共和分分析」『一橋論叢』第 115 卷第 5 号, 1996 年 5 月

「国債利回りと期待インフレ率の関係の実証分析」『一橋論叢』第 116 卷第 5 号, 1996 年 11 月

「加重最小 2 乗法によるスポット・レートの推計」『一橋論叢』第 117 卷第 5 号, 1997 年 5 月

「国債利回りとインフレ期待」『金融構造研究』(金融構造研究会) 第 19 号, 1997 年 5 月

「わが国国債先物市場効率性: ベーシス・タームでのテスト」『一橋論叢』第 118 卷第 5 号, 1997 年 11 月

「為替市場の効率性: 月次データによる検証」『一橋大学研究年報商学研究』第 38 卷, 1997 年 12 月

「利率の期間構造のリスク・プレミアムの異時点モデルによる分析」『一橋論叢』第 119 卷第 5 号, 1998 年 5 月

「為替市場における直先スプレッドはリスク・プレミアムであるか」『一橋論叢』第 120 卷第 5 号, 1998 年 11 月

「国債利回りに関する拡張フィッシャー仮説の GGM テスト」『一橋論叢』第 121 卷第 5 号,

年譜ならびに主要業績

1999年5月

「株式市場の効率性：規制政策のイベント・スタディ」『一橋論叢』第123巻第5号，2000年5月（手塚広一郎と共同）

「国債現物・先物市場とユーロ円先物市場の効率性：景気循環局面を考慮したセミ・ストロング・フォームのテスト」『一橋論叢』第124巻第5号，2000年11月

「国債流通市場の効率性と市場の改善」『生活経済学研究』（生活経済学会）第16巻，2001年3月

「日英両国における日本国債先物市場の効率性の比較」『一橋論叢』第125巻第5号，2001年5月

「国債市場の非効率性と国債管理政策への含意」『商学論纂』（中央大学）第43巻第4・5号，2002年3月

「高頻度データによるわが国現物国債流通市場における効率性の検証」『生活経済学研究』第17巻，2002年3月（二木祥代と共同）

「国債の期間構造と現物国債流通市場の効率性」『一橋論叢』第127巻第5号，2002年5月

「国債現物・先物市場の非効率性とその改善」一橋大学商学研究科編『新世紀の先物市場』東洋経済新報社，2002年11月

「国債市場の非効率性と個人投資家の参加」『一橋論叢』第129巻第5号，2003年5月

「アフィン・イールド・モデルによる国債市場効率性のテスト：再論」『一橋論叢』第129巻第5号，2003年5月（二木祥代と共同）

「国債先物のインプライド・ボラティリティとニュース」『一橋論叢』第130巻第5号，2003年11月（二木祥代と共同）

「国債先物のアクチュアル・ボラティリティのイベントスタディ」『一橋論叢』第131巻第5号，2004年5月

「わが国国債先物市場の効率性：ティック・データによる検証」『生活経済学研究』第20巻，2004年9月（皆木健男と共同）

「日本の国債市場のマーケット・マイクロストラクチャ」『一橋論叢』第134巻第5号，2005年11月（皆木健男と共同）

「日本国債先物取引の市場間比較：マイクロストラクチャ・アプローチ」『一橋商学論叢』第1巻第1号，2006年5月（皆木健男と共同）

「国債の金利自由化への影響」『一橋商学論叢』第2巻第1号，2007年5月

「戦後公共債の発行と引受の変遷（1）」『一橋商学論叢』第2巻第2号，2007年11月

「戦後公共債の発行と引受の変遷（2）」『一橋商学論叢』第3巻第1号，2008年5月

「戦前戦後の国債市場構造の分析（1）」『一橋商学論叢』第3巻第2号，2008年11月

- 「戦前戦後の国債市場構造の分析 (2)」『一橋商学論叢』第 4 巻第 1 号, 2009 年 5 月  
“Volatility and Liquidity Evidence from the JGB Futures Market” HOKUSEI REVIEW  
(北星学園大学), Vol. 48 No. 2, 2009 年 3 月 (皆木健男・加藤晃と共同).
- 「戦前金融債市場の構造」『東京経大会誌』第 265 号, 2010 年 2 月
- 「戦前地方債市場の構造」『東京経大会誌』第 267 号, 2010 年 10 月
- 「戦前国債市場のイベント・スタディ」『東京経大会誌』第 271 号, 2011 年 11 月
- 「1950 年代から 70 年代までの電債市場の分析」『東京経大会誌』第 275 号, 2012 年  
12 月
- 「戦前債券市場と引受シ団の変遷」『東京経大会誌』第 281 号, 2014 年 2 月
- 「戦前国債市場の利回り決定と効率性」『東京経大会誌』第 283 号, 2014 年 12 月
- 「戦後の公共債市場」『東京経大会誌』第 287 号, 2015 年 12 月
- 「明治・大正期の国債市場について」『成城大学社会イノベーション研究』第 12 巻第 1 号,  
2017 年 2 月
- 「明治・大正期の国債市場の効率性について」『東京経大会誌』第 292 号, 2017 年 12 月

(d) その他

〔書 評〕

- 堀内昭義『日本の金融政策』『経済研究』(一橋大学)第 32 巻第 1 号, 1981 年 1 月
- 岩田一政・浜田宏一『金融政策と銀行行動』『経済学論集』(東京大学)第 47 巻第 2 号,  
1981 年 7 月
- 須藤時仁『イギリス国債市場と国際管理』『金融経済研究』22 号, 2005 年 6 月
- 春井久志『中央銀行の経済分析』『生活経済学研究』39 号, 2014 年 3 月

(e) 学会発表

- 「企業部門の貨幣需要関数の計測」金融学会 1976 年度秋季大会, 1976 年 11 月, 於神戸大  
学
- 「貸出の需要・供給と貸出金利の関係について」計量経済学研究会議第 17 回研究会議,  
1979 年 7 月, 於六甲山ホテル
- 「国債流通市場の計量分析」金融学会 1987 年度春季大会, 1987 年 5 月, 於慶応大学
- 「わが国債券市場構造の計量分析」生活経済学会第 8 回全国大会, 1992 年 4 月, メルパル  
ク福岡
- 「国債流通市場のセミ・ストロング・フォームの効率性」日本金融学会関東(理論・政策)  
部会, 2000 年 4 月, 於慶応大学
- 「債券収益率のボラティリティとマクロ経済アナウンスメント」生活経済学会関東部会,



年譜ならびに主要業績

- 2003年10月（皆木健男と共同），於メルパルク東京  
「GARCHによるわが国国債市場の効率性の検証」生活経済学会第20回全国大会，2004年6月（皆木健男と共同），於愛知大学  
「国債市場のマーケット・マイクロストラクチャ」生活経済学会関東部会，2004年10月（皆木健男と共同），於メルパルク東京  
「日本国債先物取引の市場間比較 —マイクロストラクチャ・アプローチ—」生活経済学会第21回全国大会，2005年5月（皆木健男と共同），於一橋大学

**(f) 研究プロジェクト**

- 「国債市場のマイクロストラクチャと効率性の分析」2006-09年度，皆木健男と共同  
「戦前以来のわが国国債流通市場の効率性と国債管理政策」2010-12年度，秋森弘・皆木健男と共同  
「国債流通市場と債券管理政策および市場政策」2014-16年度，皆木健男と共同

**(g) 一般言論活動**

- 生活経済学会特別公開シンポジウム「地域の生活と情報・金融サービス」討論者，於長崎NCC&スタジオ，2002年12月  
日本郵政公社東海支社金融懇談会講演「個人投資家：運用資産と投資家の育成」於メルパルク名古屋，2005年3月  
日本郵政公社中国支社金融経済及び郵便貯金の将来に関する勉強会講演「わが国の投資信託の現状と展望」於日本郵政公社中国支社，2005年9月  
日本郵政公社北海道支社経済講演会講演「投資信託の現在とこれから」於日本郵政公社北海道支社，2005年11月  
日本郵政公社南関東支社経済講演会講演「投資信託と個人投資家」於日本郵政公社南関東支社，2007年3月  
生活経済学会北海道部会特別講演「わが国国債市場の推移と展望」於小樽商科大学，2009年10月  
生活経済学会北海道部会特別講演「日本の長期金利上昇の可能性」於小樽商科大学，2010年10月  
生活経済学会北海道部会特別講演「日本国債デフォルトの可能性」於小樽商科大学，2011年10月  
財務省講演「戦後の国債と市場の変遷」於財務省財務総合研究所 2014年5月。